

ツアー名 本所ツアー

[日時]6月24日(土)

[時間]14:30~17:00

[天気] 晴れ

[参加者]10名

[スタッフ名] 梶珠代、後藤海宜則、近郷麻衣

[ツアールート] JR両国駅→回向院→吉良邸跡→小さな博物館・喜久や(足袋や)→アートトレイスギャラリー→北斎通り→北斎茶房→妙見寺→すみだパークスタジオ(Tokyo East Perspective)→東関部屋(巡業中)→業平橋駅→曳船駅

14:30~両国駅

ツアーでは相撲の聖地「両国」から歴史の痕跡をたどりつつ、現在の「アート」な部分もあわせて見ていきました。この日は天気にも恵まれ、時間通り出発。歩いていくと、相撲取りの像がやっぱり気になります。



14:35~回向院

回向院では、「力塚」で江戸相撲の歴史を感じ、本堂の阿弥陀如来像を見て厳格な雰囲気にも包まれました。



境内にはネズミ小僧の墓や亀の墓などもありました。



14：50～吉良邸跡

赤穂浪士討ち入りのあった吉良邸。現在は本所松坂町公園として開放されています。首洗い井戸やなまこ壁がまだ残っており、ちょっとした異空間を感じることができます。



15：00～MOSHICA（家具屋さん）

次にオリジナル家具が中心の MOSHICA というお店へ。しかし、店主が外出中という下町ならではのハプニング?! 概観はとっても素敵なお店でした。ナチュラルカラーのおしゃれなデザインのものがきれいに並んでいました。



15：10～小さな博物館・喜久屋（足袋屋さん）

足袋屋さんはお休みでしたが、ガラスケースの展示の力士の足袋の大きさに驚きました。足袋の由来、歴史を伝える道具、工程などについても実際にお店の方にお伺いしてみたいと思いました。



15：20～アートトレイスギャラリー

こちらは、美術と美術をとりまく環境を考える組織 ART TRACE という NPO が運営している**参加者共同出資型のギャラリー**です。当日は「**椛田ちひろ展**」。みなさん白い壁に飾られた作品を1枚1枚じっくり眺めていました。



15：35～北斎通り

両国と錦糸町を結ぶこの通りは、街路灯や公園のトイレに多くの葛飾北斎の作品を紹介しています。浮世絵師、北斎の絵を鑑賞しながらのまち歩きです。通りの途中、ねじ屋さんの変わった建物を発見。墨田区を陰で支える小さな産業を垣間見ることができました。



16：00～北斎茶房

倉庫をリノベーションしたお茶屋さんで少し休憩。店内は、和風で落ち着いた空間です。和菓子とともにみなさんとの会話も楽しみました。親子連れ、夫婦、留学生の方など様々な方がいらしてゆったりとした交流のひとつときでした。



16：50～妙見寺

休憩後は大横川親水公園を抜けて、妙見寺につきました。このお寺の小さいけれども印象的な山門が目を引きまます。こちらは幕末の英雄、勝海舟が生死を分ける負傷をしたときに回復祈願を行ったところ。境内には勝海舟の像もありました。



17:00～すみだパークスタジオ

続いて、鈴木興産という会社の倉庫を活用した、すみだパークスタジオです。ここではアサヒアートフェスティバル 2006 の活動の一つでもある「すみだ写真博覧会 2006 Tokyo East perspective」を見学。「墨東写真」と「すみだ職人列伝」で今と昔の町の魅力が生き生きと伝わってきました。



業平駅

業平駅で解散です。駅までの道のりでは、「地元に住んでいても知らないところが多い」、「通勤の往復だけでまちをよく見ていなかった」という声をお聞きしました。



今回のツアーが新しい視点でのまちの文化の再発見となったのではないかと思います。みなさまのおかげで楽しいツアーとなりました。ありがとうございました！！